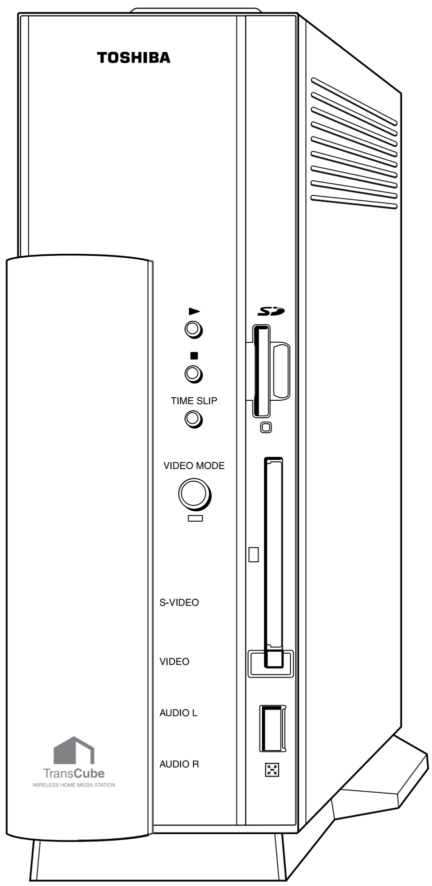
TOSHIBA

TransCube
WIRELESS HOME MEDIA STATION

取　扱　説　明　書

セットアップマニュアル



**●設置と設定の手順が説明されています。
はじめにこのマニュアルをお読みください。**

●このたびは東芝ワイヤレスホームメディアステーションTransCubeをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●お求めのTransCubeを正しく使っていただくために、お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みください。
●お子さまがご使用の際は、保護者の方が正しい使い方をご指導ください。
●お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

免責事項について

●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●本製品および本製品付属のソフトウェアの使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●何らかの不具合によりハードディスクの録画、録音、編集がされなかった場合の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
●何らかの不具合によりハードディスクの録画済みの内容が消えてしまう場合があります。その場合の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
●無線LANの使用によるデータの盗聴、およびそれによる被害に関しては保証できません。
●インターネットなどのアクセスにより個人情報の漏洩、または不正アクセスが発生した場合、被害に関して保証できません。

用途制限について

・本製品は人の生命に直接関わる装置等（*1）を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではないので、それらの用途に使用しないでください。

*1：人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものをいいます。
・生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
・有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置・消防法、建築基準法など、各種法律を遵守して設置しなければならない装置など

・本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム（*2）に使用しないでください。

*2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものをいいます。
・原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム、集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システムなど

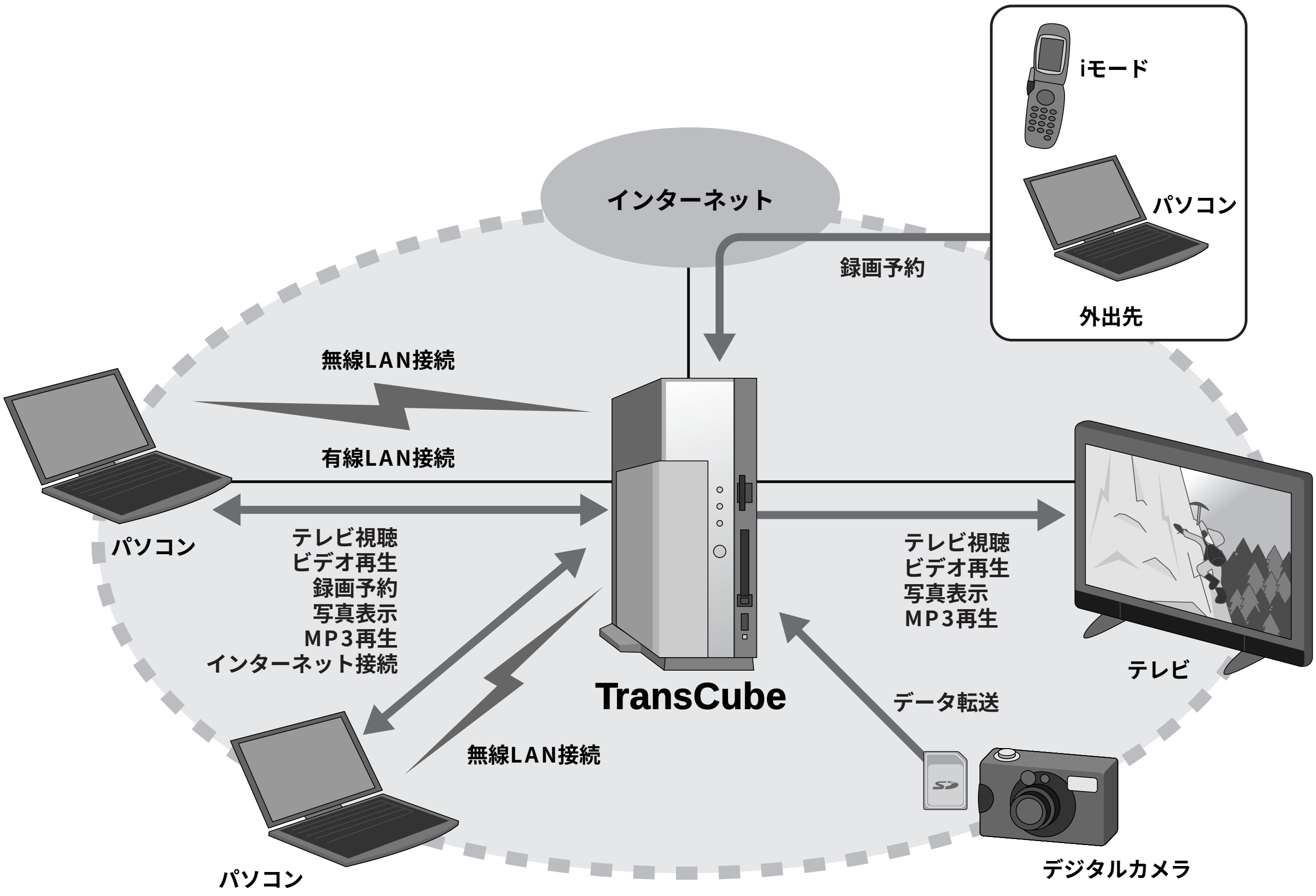
※本製品の保証条件は、同梱されている当社所定の保証書の規定をご覧ください。
※本製品を改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
※本製品および本製品に付属のソフトウェアの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
※本取扱説明書の内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
※購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取扱にはご注意願います。
※バージョンアップ用のデータについても同様です。お取扱にはご注意願います。
※お客様が設定されたパスワードを忘れてしまった場合、パスワードの再設定を保守サービスに依頼される場合は有償となります。

TransCubeの特長

――つながる・ひろがるTransCube――

TransCubeをお買い求めいただき、ありがとうございます。

TransCubeは、無線LANアクセスポイント、ブロードバンドルータ、ハードディスクビデオ、マルチメディアライブラリが一体となった、まったく新しいホームメディアステーションです。



無線LANで ワイヤレスホームネットワーク

- ●ノートパソコンで、テレビ番組の視聴や録画、ビデオタイトルの再生が家中どこからでも楽しめます。
- ●パソコン2台とテレビで、同時にビデオタイトルの再生などが楽しめます＊。
- ●ノートパソコンで、家中どこでもインターネットにつながります。

＊テレビ接続は1台のみです

外出先から録画予約

- ●外出先から、iモードやパソコンでリモート録画予約を行うことが可能です。

ハードディスクビデオで ラクラク録画・ラクラク再生

- ●空きテープを探さずに、リモコンのボタン1つで録画を開始できます。
- ●タイムスリップ機能で、放送中の番組を好きなときに見られます。
- ●タイトルの管理や消去が手軽に行えます。

家族みんなで マルチメディアライブラリ

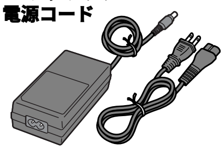
- ●音楽タイトルやデジタルカメラの写真を、リビングのテレビで楽しめます。
- ●デジタルカメラの写真は、メモリーカードからTransCubeに直接取り込むことができます。

設置と設定の手順

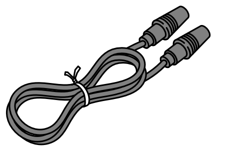
1 本製品に含まれるものを確認する

右の一覧でご確認ください

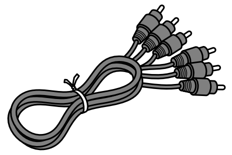
ACアダプタ、電源コード



アンテナケーブル

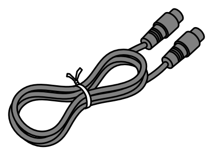


映像・音声接続コード



・取扱説明書（4冊）
・操作早見表
・お客様登録カード兼保証書

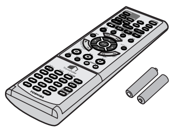
S映像接続コード



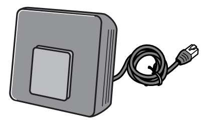
カテゴリ5LAN ストレートケーブル



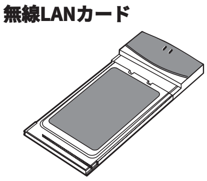
ワイヤレスリモコン 単4形乾電池×2個



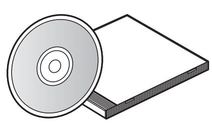
5GHz無線LAN アクセスポイント



無線LANカード



「Driver, Application CD Ver2.0」CD-ROM



2 「安全上のご注意」「使用上のお願い」をよく読む

☞ 7〜17ページ

3 設置についての注意事項をよく読む

☞ 18ページ

4 リモコンを準備し、5GHz無線LANアクセスポイントを接続する

☞ 24〜26ページ

5 アンテナを接続し、テレビなどと接続する

テレビアンテナの接続 ☞ 28ページ
ケーブルテレビのアンテナの接続 ☞ 29ページ
テレビとのみ接続する場合：映像・音声入力端子付きテレビとの接続 ☞ 30ページ
テレビ、ビデオデッキと同時に接続する場合：ビデオデッキとの接続 ☞ 31ページ

※以下、ご利用の形態に合わせて必要なページをご覧ください。

・BSチューナーなどとの接続 ☞ 33ページ
・カメラ一体型ビデオとの接続 ☞ 34ページ
・オーディオ機器との接続 ☞ 35ページ

次ページ 6 へ

5から

6 電源を接続し、本体の設定を行う

☞ 38〜43ページ

7 付属ソフトウェアをパソコンにインストールする

☞ 49ページ

8 パソコンと接続する

無線LAN接続の準備（ご利用のパソコンに応じて、以下のいずれかのページをご覧ください）

・ご利用のパソコンに無線LANが内蔵されているとき ☞ 56〜57ページ
・ご利用のパソコンに無線LANが内蔵されていないとき ☞ 53ページ

有線LAN接続の準備（無線LAN接続だけでご利用の場合、ここはご覧になる必要はありません） ☞ 58ページ

無線LAN／有線LAN共通の設定と接続の確認（無線LAN接続、有線LAN接続、いずれの場合もお読みください）

☞ 59ページ

9 インターネット接続のための設定を行う

☞ 69〜90ページ

取扱説明書の使い方

① 設置と設定を行う
このページの「設置と設定の手順」に従って、TransCubeとパソコンの設置と設定を行ってください。

② 機能別に操作方法を知りたいときは、操作マニュアルを参照する
別冊の「本体操作マニュアル」「LIVE MEDIA for TransCube V2操作マニュアル」「ルータ設定マニュアル」には、各機能の操作や注意点が個別にまとめられています。

③PDF形式の取扱説明書
「Driver,Application CD Ver2.0」CD-ROMには、本取扱説明書、および「本体操作マニュアル」「LIVE MEDIA for TransCube V2操作マニュアル」「ルータ設定マニュアル」がPDF形式で収録されています。

セットアップマニュアル　目次

TransCubeの特長 **1**
設置と設定の手順 **2**

はじめに　7

安全上のご注意 **7**
使用上のお願い **13**
●取扱に関すること 13
●使用しないときは 13
●置き場所に関すること 13
●お手入れに関すること 14
●日本国内用です 14
●アンテナについて 14
●停電について 14
●内蔵ハードディスクについて 14
●メモリーカードについて 15
●大切な録画・録音・編集について 15
●結露（露付き）について 15
●著作権について 16
●テレビ視聴と録画について 16
●パソコンの取扱について 16
●無線LANについて 16
●内蔵タイマーについて 17
●技術基準適合について 17
●廃棄について 17
設置場所について **18**

本製品の各部名称と準備　20

本体の各部名称 **20**
●本体前面 20
●本体背面 21
リモコンの各部名称 **22**
●ボタンの名称（下部パネルを閉じているとき） 22
●ボタンの名称（下部パネルを開いたとき） 23
本体表示窓（モードパネル）の表示内容 **23**
リモコンの準備 **24**
●乾電池の入れ方 24
●リモコンでTransCubeを操作するには 24
●リモコンでテレビを操作するには 25
5GHz無線LANアクセスポイントの接続 **26**

テレビなどとの接続　27

テレビアンテナの接続 **28**
ケーブルテレビのアンテナの接続 **29**
映像・音声入力端子付きテレビとの接続 **30**
ビデオデッキとの接続 **31**
●テレビに映像・音声外部出力端子が付いていない場合 31
●テレビに映像・音声外部出力端子が付いている場合 32
BSチューナーなどとの接続 **33**
カメラ一体型ビデオ（ビデオカメラ）などとの接続 **34**
オーディオ機器との接続 **35**

本体の設定　37

電源の接続……38
電源スイッチのON/OFF……39
●電源スイッチを入れる……39
●電源スイッチを切る……39
日時とチャンネル地域の設定……40
●日時の設定……41
●チャンネル地域の設定……42
●設定の終了……43
●TransCubeのモードについて……43

パソコンとの接続　45

パソコンとの接続に関するご注意……46
●TransCubeとパソコンの無線LAN接続について……46
●マルチユーザー機能について……46
●データ転送速度によるマルチユーザー機能の制限……47
LIVE MEDIA for TransCube V2のインストール……49
●LIVE MEDIA for TransCube V2の動作環境……49
●Windows XP Service Pack 1へのアップデートについて……49
●LIVE MEDIA for TransCube V2をインストールする……51
●LIVE MEDIA for TransCube V2の削除……52
無線LAN接続の準備……53
●無線LANカードを接続する……53
●ご使用のパソコンに802.11a/802.11b無線LANが内蔵されているときは……56
●ご使用のパソコンに802.11b無線LANが内蔵されているときは……57
有線LAN接続の準備……58
無線LAN／有線LAN共通の設定……59
TransCubeへの接続……61
つながらないときは……62
●「ネットワークセットアップウィザード」を実行する……62
●ネットワーク接続が有効かどうかを確認する……63
●IPアドレスが自動取得できていることを確認する……64
●「ネットワーク認証」の設定を確認する……65
●パソコンが「ad hoc」に設定されていないことを確認する……66
●パソコン本体の「無線LANスイッチ」を確認する……66

インターネットへの接続　67

インターネット接続設定時のご注意……68
ご利用の接続サービスの確認……69
ADSL回線への接続……70
●ADSLモデムとの接続……70
CATV回線への接続……71
●ケーブルモデムとの接続……71
光ファイバー回線への接続……72
●光加入者線終端装置との接続……72
ブリッジモード時の接続……73
●ルーター体型のADSLモデムとの接続……73

Internet Explorerの設定を確認する **74**
●「アクティブスクリプト」の設定 74
●「プロキシサーバー」の設定の確認 76
「簡単設定ウィザード」を起動する **77**
●簡単設定ウィザードの起動 77
●接続・動作モードの選択 79
PPPoE接続の設定 **80**
イーサネット接続の設定 **81**
OCN ADSLサービスIPv6デュアル（A）接続の設定 **82**
ブリッジモードの設定 **83**
無線LANの設定（共通） **86**
パソコンの設定の変更 **89**
●WEPキーを設定した場合 89
●ブリッジモードに設定した場合 89
接続の確認 **90**

困ったときは　91

●本体の起動や終了について 92
●リモコン／本体スイッチについて 92
●有線LAN接続について 93
●無線LAN接続について 93
●無線LAN接続／有線LAN接続共通の問題について 95
●ルータ機能について 97
●本体テレビ／ビデオ機能について 98
●LIVE MEDIA for TransCube V2について 100
●本体テレビ／ビデオ機能とLIVE MEDIA for TransCube V2共通の問題について 103
●ファームウェアのアップデートについて 104
●その他 104
ファイアウォールの設定を変更する **105**
●Windows XPのファイアウォール設定を自動変更する 105
●Windows XPのファイアウォール設定を手動で変更する 105
●Windows XP以外のファイアウォールソフトの設定を変更する 107

地域番号と放送局一覧表 **108**

商標について **112**
著作権について **112**
ハードウェアの保証とアフターサービスについて **113**

安全上のご注意

ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書には、お使いになる方やほかの人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

［表示の説明］

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	“ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること ” を示します。
⚠注意	“ 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること ” を示します。

※1：重傷とは失明やけが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

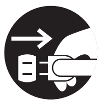
［図記号の説明］

図　記　号　例	図　記　号　の　意　味
⊘ 禁　止	“ ⊘ ” は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“ ● ” は、**指示する行為の強制**（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

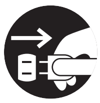
異常や故障のとき

■煙が出ていたり、変なにおいがするときは、電源スイッチをOFFにしてACアダプタのコードをDC入力端子から抜き、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。


プラグを抜く

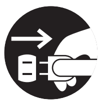


■内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。


プラグを抜く

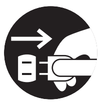


■落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。東芝家電修理ご相談センターに点検をご依頼ください。


プラグを抜く



■電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、電源プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、東芝家電修理ご相談センターに交換をご依頼ください。

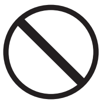

プラグを抜く

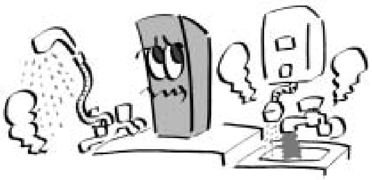


⚠警告

設置されるとき

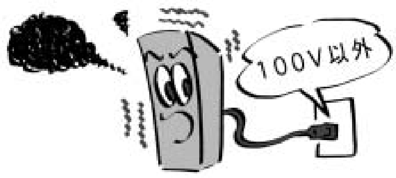
■屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと
火災・感電の原因となります。


禁 止

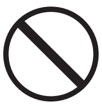


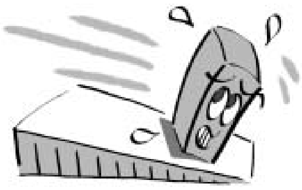
■電源プラグは交流100Vのコンセントに接続すること
交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。


指 示

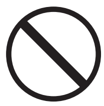


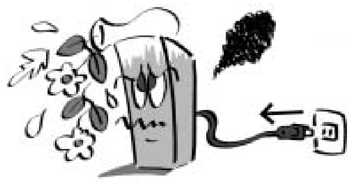
■ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと
本機が落ちて、けがの原因となります。また、振動により、内蔵ハードディスクなどの故障の原因となります。


禁 止



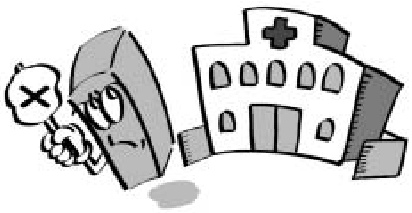
■上に物を置かないこと
- ●金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ●重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。


禁 止



■医療機器の近くで無線LAN機能を使用しないこと
本製品の無線LAN機能を医療機器の近くで使用すると、医療機器の誤作動の原因となることがあります。医療機器の近くではご使用にならないでください。


禁 止



■電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む
確実に差し込んでいないと、火災、感電の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない
タコ足配線などで定格をこえると、火災、感電の原因となります。

ご使用になるとき

■修理・改造・分解はしないこと
火災・感電の原因となります。
点検・調整・修理は東芝家電修理ご相談センターにご依頼ください。


分解禁止



■放熱ファンなどから異物を入れないこと
金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。


禁 止



■梱包に使用しているビニール袋をお子様がかぶって遊んだりしないようにする
お子様の手の届かないところへ置いてください。

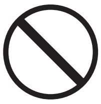
■取り外した小さな部品（リモコン電池、分波器）や、ケーブル類は、小さなお子様の手の届かないところに置く
ケーブルが絡まり窒息の恐れがあります。小さな部品を誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

■付属のACアダプタ、ACケーブルを使用すること
異なるACアダプタを使用すると、電圧や（＋）（−）の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発煙の原因となります。

⚠警告

ご使用になるとき

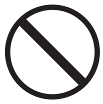
■雷が鳴りだしたら、本機には触れないこと
感電の原因となります。

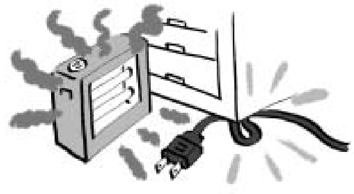

禁 止



■電源コードは
- ●傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと
- ●引っ張ったり、重い物を載せたり、はさんだりしないこと
- ●無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと

火災・感電の原因となります。


禁 止



お手入れについて

■電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりを取ること
電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。


指 示



無線LANについて

■埋め込み型心臓ペースメーカーを装備している人から、22cm以上離すこと
無線LANの電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

■自動ドア、火災報知器などの自動制御装置の近くでは本製品の電源を切ること
無線LANの電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

■航空機内および周辺に電波障害などが発生する場所では、本製品の電源を切ること
無線LANの電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

■同梱の無線LANカードをパソコンに取り付けて航空機内で使用するときは、航空会社の指示に従うこと
指示に従わずに使用すると、運航装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

⚠注意

設置されるとき

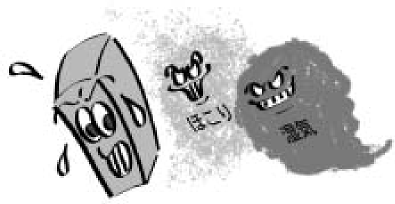
■温度の高い場所に置かないこと
直射日光の当たる場所・ストーブのそば・電気カーペットの上などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他の部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁 止



■湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁 止



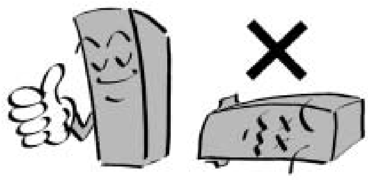
■風通しの悪い場所に置かないこと
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
●壁に押しつけないでください。
●押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
●じゅうたんや布団の上に置かないでください。

禁 止



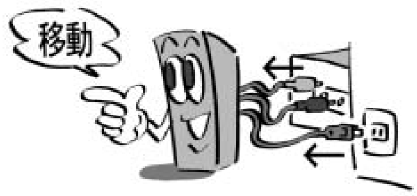
■縦に置いて使用すること
必ず脚部を下にし、縦に置いて使用してください。あおむけ・横倒し・さかさまに置くと、機器の故障の原因となるほか、放熱の妨げとなって内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

指 示



■移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線を外すこと
電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などを外さずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

指 示



■排気口をふさがないこと
本体背面の排気口や、側面・背面の孔をふさがないでください。内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

禁 止



⚠注意

ご使用になるとき

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。

禁 止



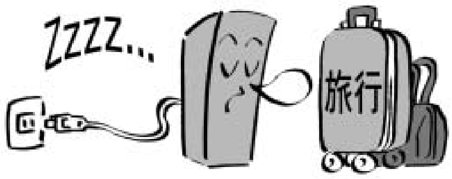
■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止



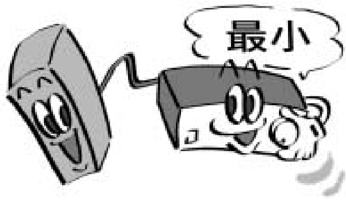
■旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

プラグを抜く



■電源を入れる前には音量を最小にすること
電源を入れる前には、接続しているテレビなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

指 示



■テレビなどの音量を上げすぎないこと
音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

禁 止



注意

ご使用になるとき

■PCカードやSDメモリーカードが熱いときは取りはずさない
ＰＣカードやＳＤメモリーカードを本体やパソコンから取りはずす際に、ＰＣカードやＳＤメモリーカードが熱い場合は、少し時間をおき、冷めてから取りはずしてください。ＰＣカードやＳＤメモリーカードは、長時間使用していると熱を帯びる場合があります。

■本体に長時間、素肌が直接触れないようにする
ご使用中、本体の表面が熱を帯びますので、本体に長い間触れていると、低温やけどの原因となります。肌の弱い方は特にご注意ください。

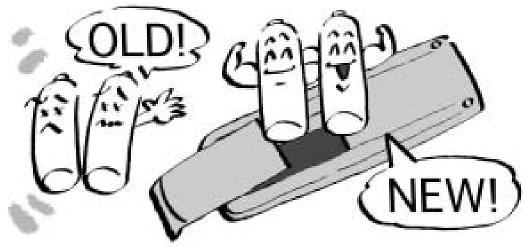
■リモコンに使用している乾電池の取り扱いは次の事項を守ること

- ●指定以外の電池は使用しないこと
- ●極性表示［(＋）と（－)］を間違えて挿入しないこと
- ●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと
- ●乾電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかないこと
- ●種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

指示





使用上のお願い

取扱に関すること

●本機の動作中は絶対に電源プラグをコンセントから抜いたり、ACアダプタのコードをDC入力端子から抜いたりしないでください。故障の原因となります。
●電源プラグは、必ず本体背面の電源ボタンをOFFにして、終了処理が終わり、完全に電源が切れたことを確認してから抜くようにしてください。
●録画中に電源プラグを抜いたりブレーカーを落としたりすると、それまで記録されたデータがすべて失われる場合があります。
●移動させるときは、移動する前に必ず本体背面の電源スイッチをOFFにして、終了処理が終わり、完全に電源が切れたことを確認してください。
本体の電源スイッチをOFFにした後、終了処理完了から30秒は動かさないでください。
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように梱包箱に入れるか、毛布などでくるんでください。
また、振動や衝撃を与えないでください。
●雷が鳴っているときは使用しないでください。故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
●殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
●長時間ご使用になっていると天板や後部が多少熱くなりますが、故障ではありません。
●本体底部のネジをはずしたり、スタンド（脚部）をはずしたりしないでください。分解と見なし、保証の対象外となります。
●本体前面のドアを無理に（110度以上）開かないでください。また、ドアを持って本体を持ち上げたり移動しないでください。故障の原因となります。
●本体前面のボタンを先のとがったもので押したり、塗装面に先のとがったもので触れないでください。故障やきずの原因となります。
●本体内蔵の時計用バッテリは消耗品です。交換は有償となります。
●静電気が発生しやすい環境では、本体に触れる前にアースされた金属物等に触れて、体に帯電した静電気を放電してください。本機の故障となる場合があります。
●ケーブルなどを接続するときは、コネクタの形状に合わせ正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わると、コネクタが破損するおそれがあります。
●本体やパソコンのPCカードスロット、SDメモリーカードスロットに異物を挿入しないでください。本体の故障の原因となります。

使用しないときは

●ふだん使用しないとき
本体背面の電源スイッチを切っておいてください。
●長時間使用しないとき
本体背面の電源スイッチを切り、本体の終了処理が完了したこと（表示窓の表示が消えたこと）を確認してから電源プラグを抜いてください。

置き場所に関すること

●本機を設置する際は、必ず脚部を下にし、縦に置いて使用してください。横に置くと、機器の故障の原因となるほか、放熱の妨げとなって内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、無線LANの電波が遮断され、無線LAN機能が正常に使用できなくなるおそれがあります。
●急速に温度や湿度が変化するような環境や、腐食性の薬品のそばに置かないでください。故障や誤動作の原因となるおそれがあります。
●ステレオスピーカーなど、強い磁気を発するもののそばに置かないでください。そのまま使用するとデータが消失したり、故障や誤動作の原因となるおそれがあります。
●極端に低温になるところに置かないでください。故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
●ほこりの多いところに置かないでください。故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となるおそれがあります。内部にほこりが入ったときは、東芝家電修理ご相談センターに点検をご依頼ください。
●本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機を使用中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。
●車中で使用しないでください。
●内部冷却用のファンの通風孔をふさがず、周囲のものから10cm以上離してください。内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
●ACアダプタは、温度の影響を受けやすいものの上に置いて使用しないでください。あとがつくことがあります。

お手入れに関すること

キャビネットや操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- ●よごれがひどいときは、電源スイッチをOFFにしたあとで電源プラグをコンセントから抜き、布を水で薄めた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。
変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- ●本体正面のアクリル部分に指紋などが付いた場合は、やわらかい布で拭き取ってください。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。本機の無線LANは日本国内の仕様に準拠していますので、日本国外では使用しないでください。
This proudct is designed for use in Japan only. Do not use in any other countries.

アンテナについて

- ●画像や音声はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- ●本機を接続した場合、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなることがあります。この場合は購入店にご相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをご使用になる場合は、アンテナブースターの説明書をご覧ください。

停電について

- ●本機の動作中に停電等が発生すると、場合により内蔵ハードディスクに記録した内容、または記録中の内容が消去されてしまうことがあります。

内蔵ハードディスクについて

本機にはハードディスク（HDD）が内蔵されています。ハードディスクは衝撃や振動、温度などの周囲の環境の変化を受けやすく、録画・再生が停止したり、コマ落ちしたり、記録されているデータが損なわれることがありますので、以下のことにお気をつけください。

- ●振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。ハードディスクは非常に精密な機器で、振動や衝撃に弱いため、使用状況によっては部分的に破損したり、最悪の場合データの読み出しと書き込みができなくなります。
- ●ハードディスクが破損、または故障した場合、ハードディスクに記録されたデータの修復はできません。また、記録データの損壊、喪失について、当社は一切の責任を負いません。
- ●内蔵ハードディスクに記録した重要な内容は、ビデオテープにダビングするか、パソコンにコピーして保存されることをお勧めします。ダビングする際は、長期保存に適した高画質なモードでの保存をお勧めします。
- ●ハードディスクには寿命があり、使用状態が激しい場合は数年で異常をきたす場合があります。ハードディスクに記録した映像にノイズが発生しやすくなった場合が交換の目安です。交換の場合は、「東芝家電修理ご相談センター」までご相談ください。
- ●ハードディスクをお客様ご自身で増設・交換することはできません。
- ●万一ハードディスクが故障または破損した場合、ハードディスクの交換は有償となります。
- ●本機の内蔵ハードディスクを取り外し、パソコンなどに取り付けて使用することはできません。
- ●内蔵ハードディスクに保存されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。本体の廃棄や譲渡の際に、ハードディスクに保存されたデータの完全消去を行う場合は、専門業者に依頼（有償）してください。

メモリーカードについて

●指定されたメモリーカード以外は使用できません（指定されたメモリーカードについては「本体操作マニュアル」・73ページをご覧ください）。
●指定されたメモリーカードであっても、記録内容によっては使用できない場合があります。
●本機のＳＤメモリーカードスロット、ＰＣカードスロットは、読み出し専用です。
●メモリーカードの挿入や取り出しは、ルータモードの状態で行ってください。データ消失や本体の誤動作の原因になります。
●メモリーカードの読み出し中は電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。
データが消失するおそれがあります。
●ラベルは正しい位置からはみ出したり、重ね貼りしないでください。
メモリーカードの故障の原因となります。
●水がかかったり、湿気やほこりの多い場所、高温・低温になる場所へ保管しないでください。
データ消失や故障の原因になります。

大切な録画・録音・編集について

●大切な録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集を行い、正しくできることを確かめておいてください。
本機を使用中、万一何らかの不具合により、録画・録音・編集されなかった場合の内容の保証および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
●電源ONの状態で電源プラグを抜いたり停電があった場合、記録内容がすべて消える場合があります。
●内蔵ハードディスクに記録した重要な内容は、ビデオテープにダビングするか、パソコンにコピーして保存されることをお勧めします。ダビングする際は、長期保存に適した高画質なモードでの保存をお勧めします。
●放送チャンネルや番組によっては、音量オーバーすると音が割れたり、飛んだりすることがあります。必要に応じて調整してください。
●音楽データは本機からパソコンにコピーすることはできません。パソコンから本機に音楽データをコピーした際も、オリジナルのファイルを保存されておくことをお勧めします。

結露（露付き）について

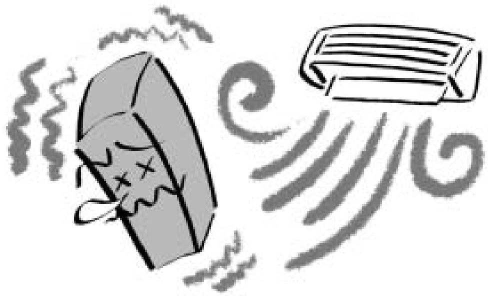
結露は本機の内蔵ハードディスクや回路の故障の原因となります。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。この現象と同じように、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを“結露（露付き）”といいます。



■“結露”はこんなときにおきます。

●本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
●暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
●夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
●湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき



■結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、内部の部品を傷めることがあります。本機の電源を切り、本機が周囲と同程度の温度になるまで放置して、水滴をとってからご使用ください。

著作権について

●著作権保護技術の採用により、録画禁止のものは視聴したり録画したりできません。また、「録画1回可能」のものも視聴したりハードディスクに記録したりできません。
●録画内容を無断で複製、放送、上映、有線放送、公共演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。

テレビ視聴と録画について

●本機を利用してパソコンで映像・音声を視聴される場合、MPEG変換のために実時間より2秒程度再生が遅れます。厳密に実時間で見る必要がある場合は、本機を使わず直接テレビでご視聴ください。
●本機は電源を入れてから録画できる状態になるまで時間がかかります。番組開始と同時に電源を入れた場合、番組冒頭の録画に間に合わない場合があります。
●無線LANあるいは有線LANの負荷が大きい場合、パソコンでのテレビ視聴やタイトルの再生に支障が出る場合があります。
●本機を使ってパソコンとテレビで同時にテレビ視聴を行うことはできません。
●同時に2台以上のパソコンでテレビ視聴を行うことはできません。
●放送チャンネルや番組によっては、画像がコマ落ちすることがあります。
●録画中や再生中に本体に振動や衝撃を加えると、映像が途切れたり、停止したりしてしまうことがあります。
●ビデオデッキでビデオテープを再生して本機に入力した際、古いテープなどノイズが多いテープを使用した場合、コピープロテクト機能が働いて正常に視聴したり録画したりできない場合があります。
●パソコンを本機に接続してテレビ視聴やタイトル再生を行う際、パソコンにウイルスチェックやファイアーウォールなどのセキュリティソフトがインストールされていると、映像に乱れが生じたり 転送ができないことがあります。
●パソコンを本機に接続してテレビ視聴やタイトル再生を行う際、パソコンをバッテリ動作時などの省電力モードで使用すると、映像が乱れることがあります。

パソコンの取扱について

●パソコンにインストールしたアプリケーションソフトの動作中に、パソコンの電源を切らないでください。データが消失する場合があります。

無線LANについて

●本製品は2.4GHz帯の周波数を使用します。本製品の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・化学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定省電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
1.本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2.万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して、電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用チャネルを変更するかまたは電波の発射を停止したうえ(「ルータ設定マニュアル」・50ページ参照)、東芝PCダイヤルにご連絡いただき、混信回避のための処置等（パーティションの設置など）についてご相談してください。
3.その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことがおきたときは、東芝PCダイヤルへお問い合わせください。

●本製品は5GHz帯の周波数を使用します。日本国内では5GHz帯無線LANは屋内専用です。
●電子レンジなど、2.4GHz帯の周波数を使用する機器の近くで使用すると、本機の無線LAN機能に影響が出て、画像や音声が乱れるなどの現象が出る場合があります。万一このような現象が出たときは、設置場所を変えてください。
●Bluetoothを使用する機器の近くで使用すると、本機の無線LAN機能に影響が出る場合があります。このような場合は、Bluetoothか無線LANのどちらかをお切りください。
●無線の電波の通信距離は、室内でおおよそ10mです。ただし、壁の材質・見通し、また環境などの条件により異なります。隣接する部屋でも通信できないこともあります。通信距離についての保証はできませんのでご了承ください。
●本機付属の無線LANカード、または東芝製無線LAN内蔵ノートパソコン以外の無線LAN機器を用いての映像の転送は保証できません。
●USB無線LAN機器などを用いての映像の転送は保証できません。
●本機以外の無線LANアクセスポイントをLANポートに接続しての、無線による映像転送は保証できません。
●無線LANによりインターネットと映像の転送を同時に行うと映像が乱れることがあります。
●パソコンでのテレビ視聴と同時にほかのパソコンからの通信が行われると、場合によっては画質が乱れる、または再生できないことがあります。
●本製品と付属の無線LAN PCカードは、日本国内でのみご使用いただけます。日本国外では使用しないでください。

●パソコンから本機付属の無線LANカードを取りはずす場合は、無線LANカードの使用を停止してから取りはずしてください。使用を停止せずにご利用中の無線LANカードを取りはずすと、システムがハングアップしたり、データが失われる場合があります。
●802.11b無線LAN内蔵パソコンでは、内蔵無線LANと同梱の無線LANカードを同時に使用することはできません。同梱の無線LANカードを使用するときは、内蔵無線LAN機能を停止してからお使いください（「ご使用のパソコンに802.11b無線LANが内蔵されているときは」・57ページ参照)。
●同梱の無線LANカードで使用できる802.11b無線LANの通信チャネルは1～11チャネルです。
●ネットワークの設定は、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

内蔵タイマーについて

●本機は内蔵タイマーの機能により、2038年1月19日で時刻関係の機能が動作できなくなり、システムが使用できなくなります。
●本機の日時設定は、2035年11月30日以降は受けつけません。また、2003年1月1日以前も受けつけません。

技術基準適合について

本製品は、下記規制に適合しております。

・漏洩電流自主規制
・瞬時電圧低下
・電波障害自主規制
・高調波対策「高調波ガイドライン適合品」

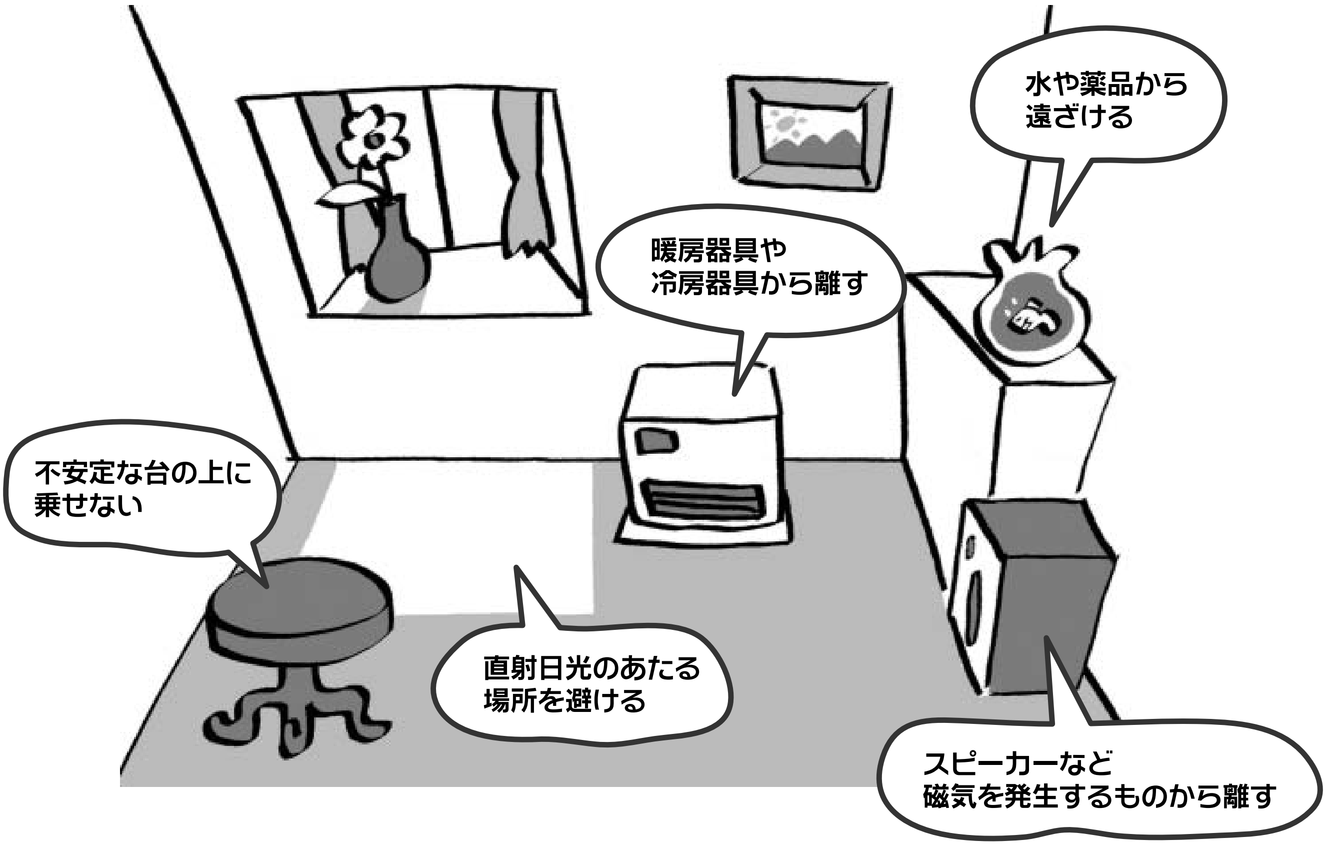
廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

設置場所について

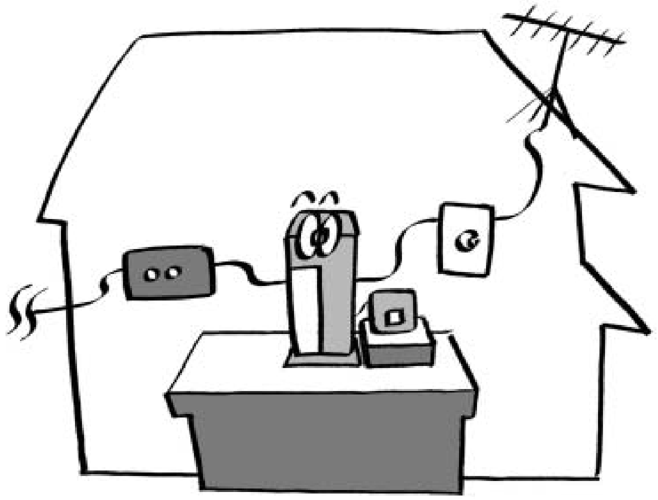
TransCubeはハードディスクを内蔵した精密機器です。振動やほこり、急激な温度変化を与えないように、設置場所を選んでください。

・不安定な場所に置くと、TransCubeが落ちたり倒れたりする可能性があり、故障やケガにつながります。
・横にして置くと、故障の原因となります。必ず脚を下にして、縦に置いてください。
・オーディオラックの中や本棚の中など、まわりを遮蔽物に囲まれた場所に置くと、無線LANの電波の到達距離が短くなります。なるべく電波をさえぎるものが少ないところに置いてください。
・本体にはハードディスクが内蔵されています。設置の際は、衝撃を与えないように、落とさず静かに置いてください。
・ACアダプタは、パソコンやTransCubeの上に置かないでください。平らな安定した台の上に置いてください。また、電源コードにつまずいたりしないよう、注意して置いてください。



こんなところに置いてください

- 平らでしっかりした台の上
- コンセント、テレビ、テレビアンテナ、ADSLモデムやCATVモデムの近く
- 無線LANの電波をさえぎるものが少ないところ
- 電子レンジなど、2.4GHz帯の電波を利用する機器から離れたところ
- 5GHz無線LANアクセスポイント（外付け）の電波が棚やテレビなどで遮蔽されない場所





カバーやおおいをかけない

無線LANの電波の到達距離が短くなります。



狭い棚やラックの中に置かない

無線LANの電波の到達距離が短くなります。

●●●用意するもの●●●

設置を始める前に、次のものを用意してください。

■TransCube本体と付属品

■インターネット接続事業者、またはプロバイダの取扱説明書、ADSLモデムなどの取扱説明書

インターネット接続の設定を行うために必要です。回線接続に使用する機器（ADSLモデムなど）の取扱説明書もご用意ください。

■以下のものは必要に応じてご用意ください（本製品には付属していません）

・アース線とプラスドライバー

アースを取り付ける場合に必要です。

・パソコンおよびパソコン用のCD-ROMドライブ

付属ソフトウェアのインストールに、CD-ROMドライブが必要です。CD-R、CD-RW、DVD/CD-Rドライブでもかまいません。

・テレビアンテナ用の整合器

テレビアンテナ線が平行フィーダ線のときや、テレビアンテナ線の末端に分配器が付いているときに必要です。

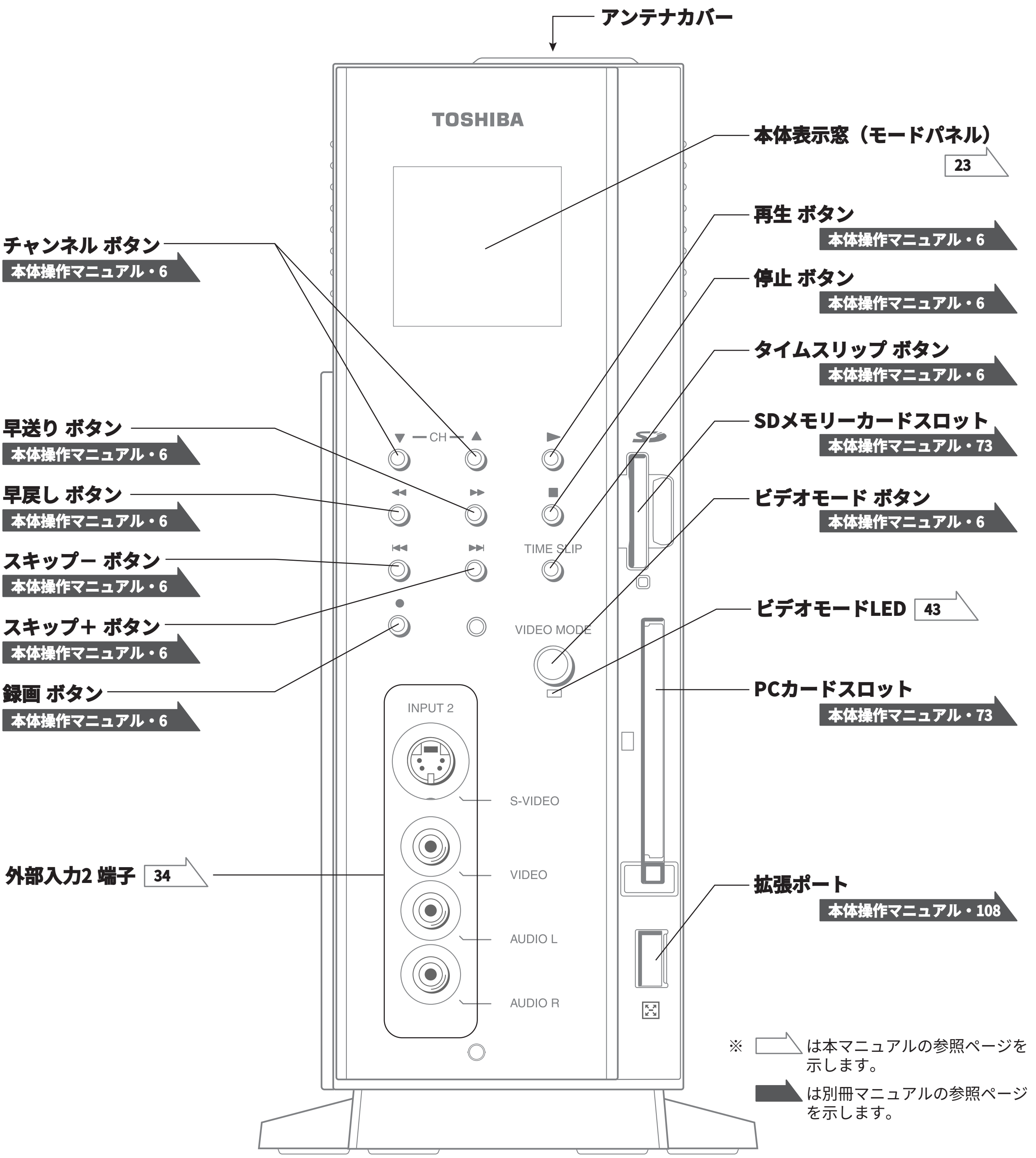
・カメラ一体型ビデオの映像・音声出力用ケーブル

TransCubeの映像・音声入力端子とカメラ一体型ビデオの映像・音声出力端子を接続する際、機種によっては専用ケーブルが必要です。

本製品の各部名称と準備

本体の各部名称

本体前面



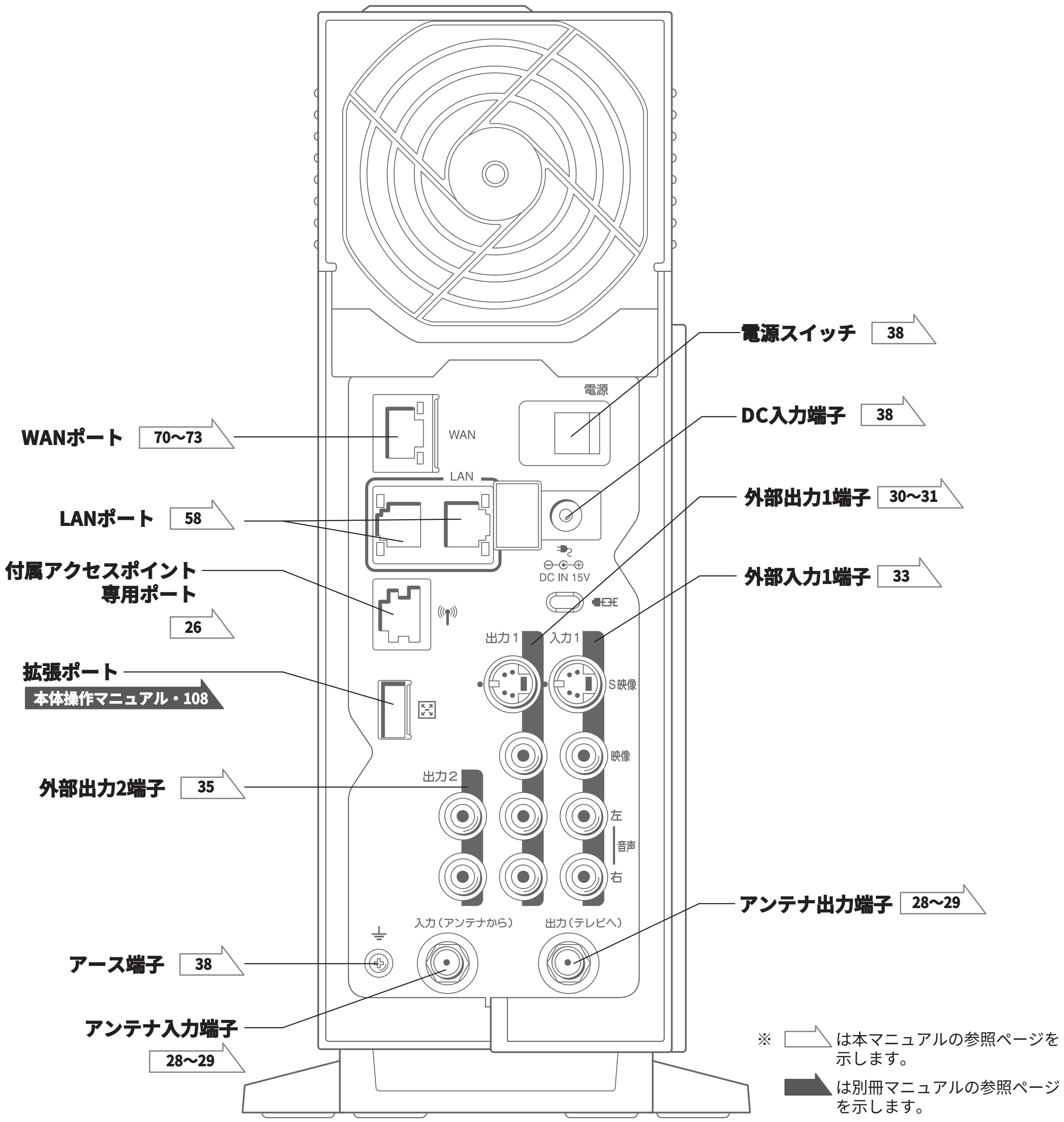
※S映像端子のコネクタの向きにご注意ください。S映像端子を挿入するときは、端子下の「・」印に合わせてS映像接続コードを挿入してください。

※本体前面に貼り付けてあるアクリルの保護フィルムは、ご使用の前におはがしください。

※無線LAN外部アンテナについて：無線LAN外部アンテナについての詳細は、「(株）システムサポート　トランスキューブ販売窓口」までお問い合わせください。

TEL：042（526）5777　受付時間：9：00〜18：00（土日、祝日を除く）

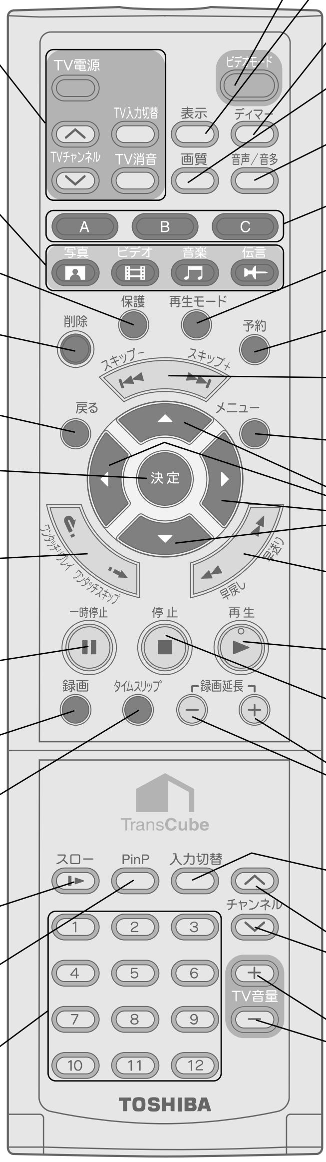
本体背面



※S映像端子のコネクタの向きにご注意ください。S映像端子を挿入するときは、端子横の「・」印に合わせてS映像接続コードを挿入してください。

リモコンの各部名称

ボタンの名称（下部パネルを閉じているとき）



TV電源・TVチャンネル・TV入力切替・TV消音 ボタン
25

写真・ビデオ・音楽・伝言 ボタン
ライブラリなどの操作の切り替えに使用します

保護 ボタン
本体操作マニュアル・57

削除 ボタン
本体操作マニュアル・58

戻る ボタン
1つ前の操作に戻るときなどに使用します

決定 ボタン
操作をメニューから決定するときなどに使用します

ワンタッチリプレイ・ワンタッチスキップ ボタン
本体操作マニュアル・26

一時停止 ボタン
本体操作マニュアル・20

録画 ボタン
本体操作マニュアル・31

タイムスリップ ボタン
本体操作マニュアル・16,28

スロー ボタン
本体操作マニュアル・26

PinP ボタン
本体操作マニュアル・30

チャンネルテンキー
本体操作マニュアル・13

ビデオモード ボタン
本体操作マニュアル・7

表示 ボタン
本体操作マニュアル・13

ディマー ボタン
表示窓の明るさを切り替えます

画質 ボタン
本体操作マニュアル・33

音声/音多 ボタン
本体操作マニュアル・15

A・B・C ボタン
ライブラリなどの操作で使用します

再生モード ボタン
本体操作マニュアル・23

予約 ボタン
本体操作マニュアル・42

スキップ ボタン
本体操作マニュアル・27

メニュー ボタン
メインメニューを表示します

方向キー
メニューを選択するときなどに使用します

早送り・早戻し ボタン
本体操作マニュアル・25

再生 ボタン
本体操作マニュアル・18

停止 ボタン
本体操作マニュアル・20

録画延長 ボタン
本体操作マニュアル・34

入力切替 ボタン
本体操作マニュアル・14

チャンネル ボタン
本体操作マニュアル・14

TV音量 ボタン 25

※ （白い矢印）は本マニュアルの参照ページを示します。
（黒い矢印）は別冊マニュアルの参照ページを示します。

ボタンの名称（下部パネルを開いたとき）

TV消音 ボタン 25

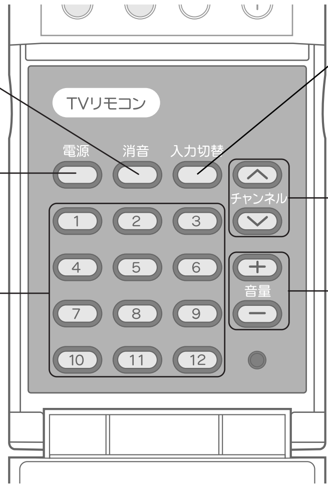
TV電源 ボタン 25

TVチャンネルテンキー 25

TV入力切替 ボタン 25

TVチャンネル ボタン 25

TV音量 ボタン 25



本体表示窓（モードパネル）の表示内容

有線LANアイコン（LAN）
有線LAN接続のリンクが
確立しているときに点灯します

有線LANアイコン（WAN）
ADSLモデムなどとの間で有線LAN接続の
リンクが確立しているときに点灯します

無線LANアイコン(802.11b無線LAN)
パソコンとの間で802.11b無線LAN接続で
通信中に点滅します

パソコンアイコン
LIVE MEDIA for TransCube V2を
利用してパソコンから接続している
ときに点灯します

ハードディスクアイコン
ハードディスクにアクセスしている
ときに点灯します



日付・時刻表示

チャンネル表示

メッセージ領域
日付・時刻やチャンネル以外にも、
必要に応じてメッセージが表示
されます

再生アイコン
再生中に点灯します

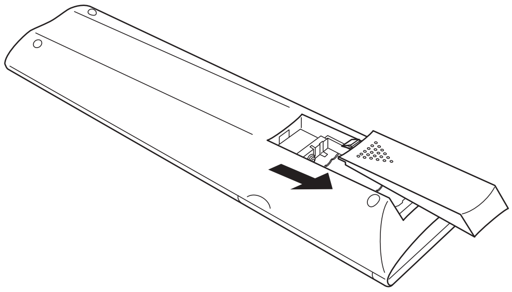
録画アイコン
録画中に点灯します

録画予約アイコン
録画予約があるときに点灯します。
予約した録画の実行中は点滅します

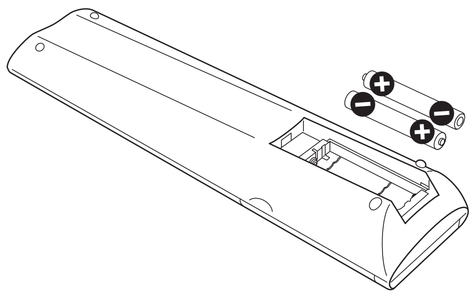
リモコンの準備

乾電池の入れ方

1 **フタをはずす**



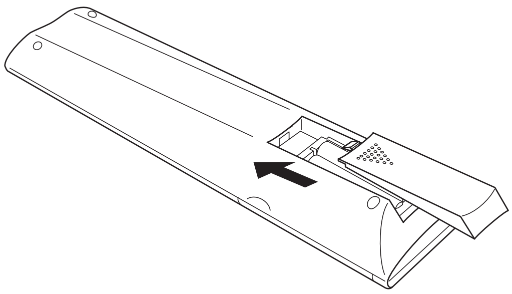
2 **乾電池を入れる**



▶乾電池の＋、－を確かめて入れてください。

※単4形乾電池を2本使用してください。

3 **フタを閉める**



■乾電池について

リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、2本同時に新しい乾電池と交換してください。

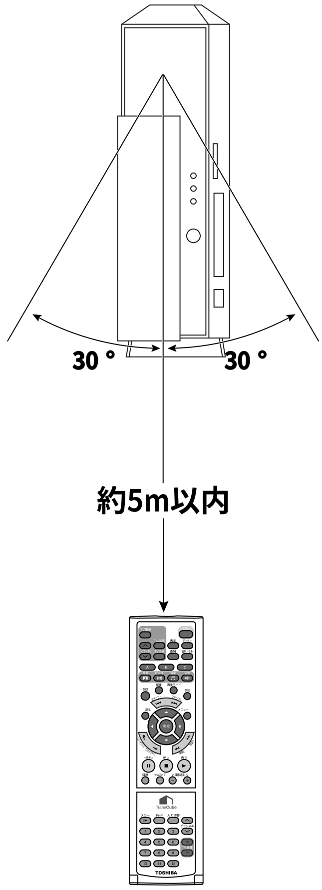
リモコンでTrans Cubeを操作するには

1 **本体に向けてリモコンのボタンを押す**

▶距離：本体表示窓正面より約5m以内です。

▶角度：本体表示窓より上下左右とも約30度以内です。

▶本体表示窓に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。



■リモコンについて

- 本体表示窓が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所には置かないでください。
- 水をかけたり、湿気の多いものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- リモコンは本機専用です。

リモコンでテレビを操作するには

TransCube付属のリモコンはテレビを操作する機能を備えています。ご利用のテレビを付属リモコンで操作するために、以下の操作を行う必要があります。



1 下の表からご利用のテレビのメーカーを選び、リモコンの[TV電源]ボタンを押しながら、メーカーの番号を[チャンネルテンキー] 1～10 で入力する

番号	メーカー	番号	メーカー
00	東芝	06	日本ビクター
01	松下電器産業A	07	三洋電機A
02	松下電器産業B	08	ソニー
03	日立製作所	09	NEC（日本電気）
04	三菱電機B	10	富士通ゼネラル
05	シャープ	11	パイオニア

※0は[10]ボタンで入力します

入力例：

・松下電器産業B（メーカー番号：02）の場合

➡ 10 2 （[10]・[2]とボタンを押します）

・富士通ゼネラル（メーカー番号：10）の場合

➡ 1 10 （[1]・[10]とボタンを押します）

2 [TV電源]ボタンを離す

▶リモコンにメーカー番号が設定されます。

3 リモコンをテレビに向けて操作する

▶本リモコンは、テレビ操作用として次のボタンを備えています。

- TV電源：テレビ電源のオン／オフを行います
- TV入力切替：テレビの入力を切り替えます
- TVチャンネル（[︿]と[﹀]）：テレビのチャンネルを順に切り替えます
- TV消音：テレビ音声をミュートします
- TV音量（[+]と[−]）：テレビ音量を調整します
- TVチャンネルテンキー（下部パネルを開いたとき）：テレビチャンネルを直接指定します







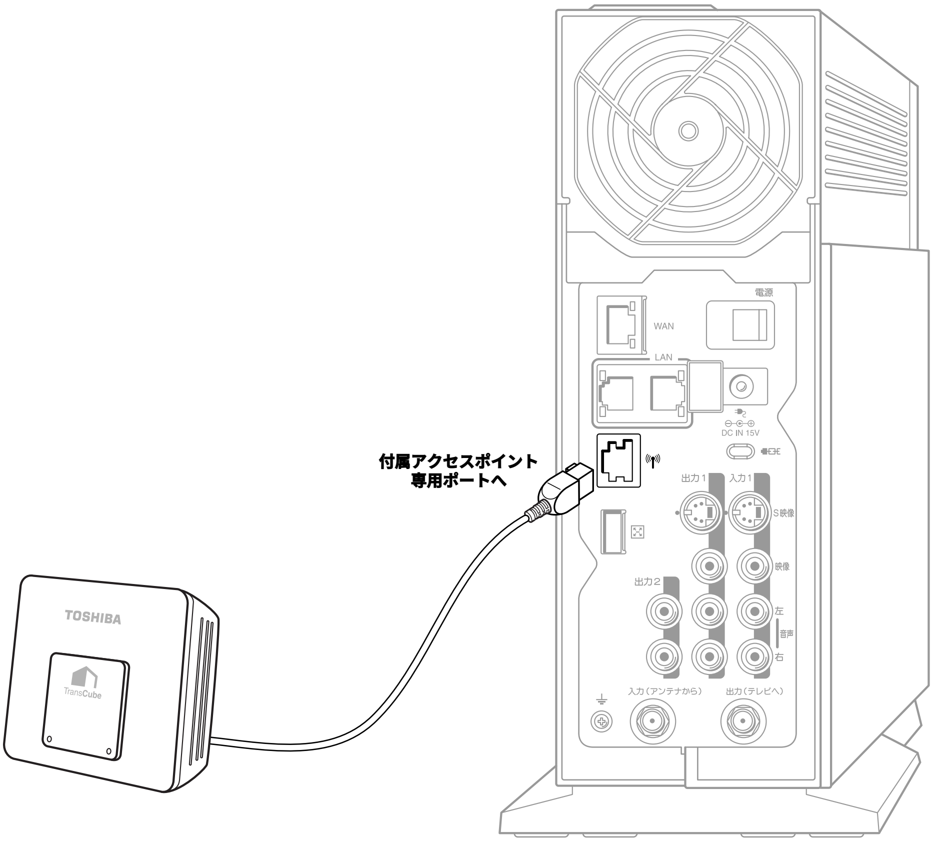
お知らせ

- 出荷時は、当社のテレビ（メーカー番号：00）に設定されています。
- メーカーによっては、2つ以上の設定番号があります。本機のリモコンで操作できるように、1つずつ入力してみてください。
- お使いのテレビによっては、本機のリモコンで操作できない場合や、一部操作できないボタンがあります。
- リモコンの電池を入れ替えたときは、メーカー番号を設定しなおしてください。

5GHz無線LANアクセスポイントの接続

パソコンとTransCubeでIEEE802.11a規格の無線LAN通信を行うために、5GHz無線LANアクセスポイント（以下、「802.11a無線LANアクセスポイント」または「アクセスポイント」と呼びます）と本機を接続します。

802.11a無線LANアクセスポイントは、次のように、本機背面の付属アクセスポイント専用ポートと802.11a無線LANアクセスポイントのコードを接続してください。



お知らせ

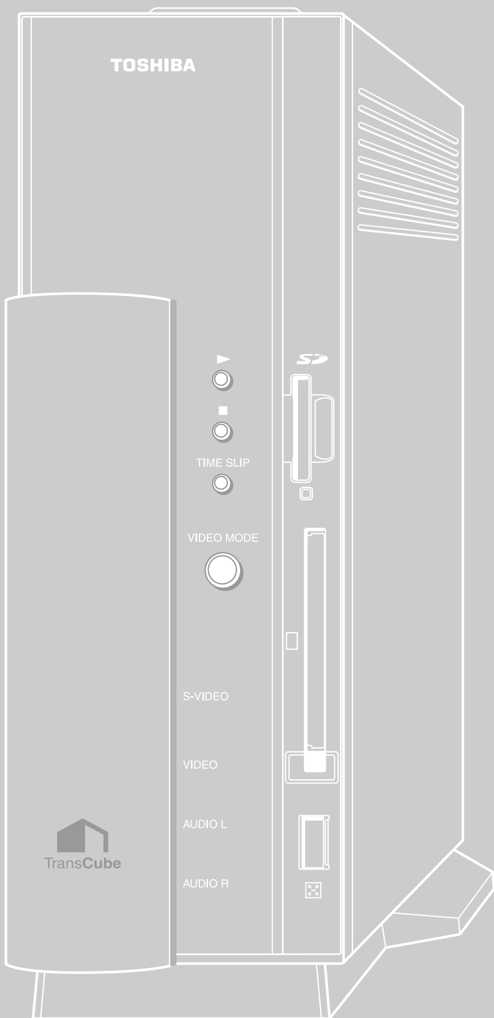
- **802.11a無線LANアクセスポイントのコードを接続するときは、必ず本体の電源がOFFの状態で行い、接続を確認した後に本体の電源をONにしてください。**
- **本体の電源がONのときは、802.11a無線LANアクセスポイントのコードの抜き差しは行わないでください。802.11a無線LANが使用できなくなります。**
- **本体の電源がONの状態で無線LANアクセスポイントのコードを抜いてしまった場合は、一度本体の電源をOFFにし、802.11a無線LANアクセスポイントのコードを付属アクセスポイント専用ポートに差してから、本体の電源をONにしてください。**

お知らせ

802.11a無線LANアクセスポイントは、安定した台に設置してお使いください。

テレビなどとの接続

■テレビアンテナの接続..28
■ケーブルテレビのアンテナの接続................................29
■映像・音声入力端子付きテレビとの接続.......................30
■ビデオデッキとの接続..31
■BSチューナーなどとの接続 33
■カメラ一体型ビデオ（ビデオカメラ）などとの接続........34
■オーディオ機器との接続...35



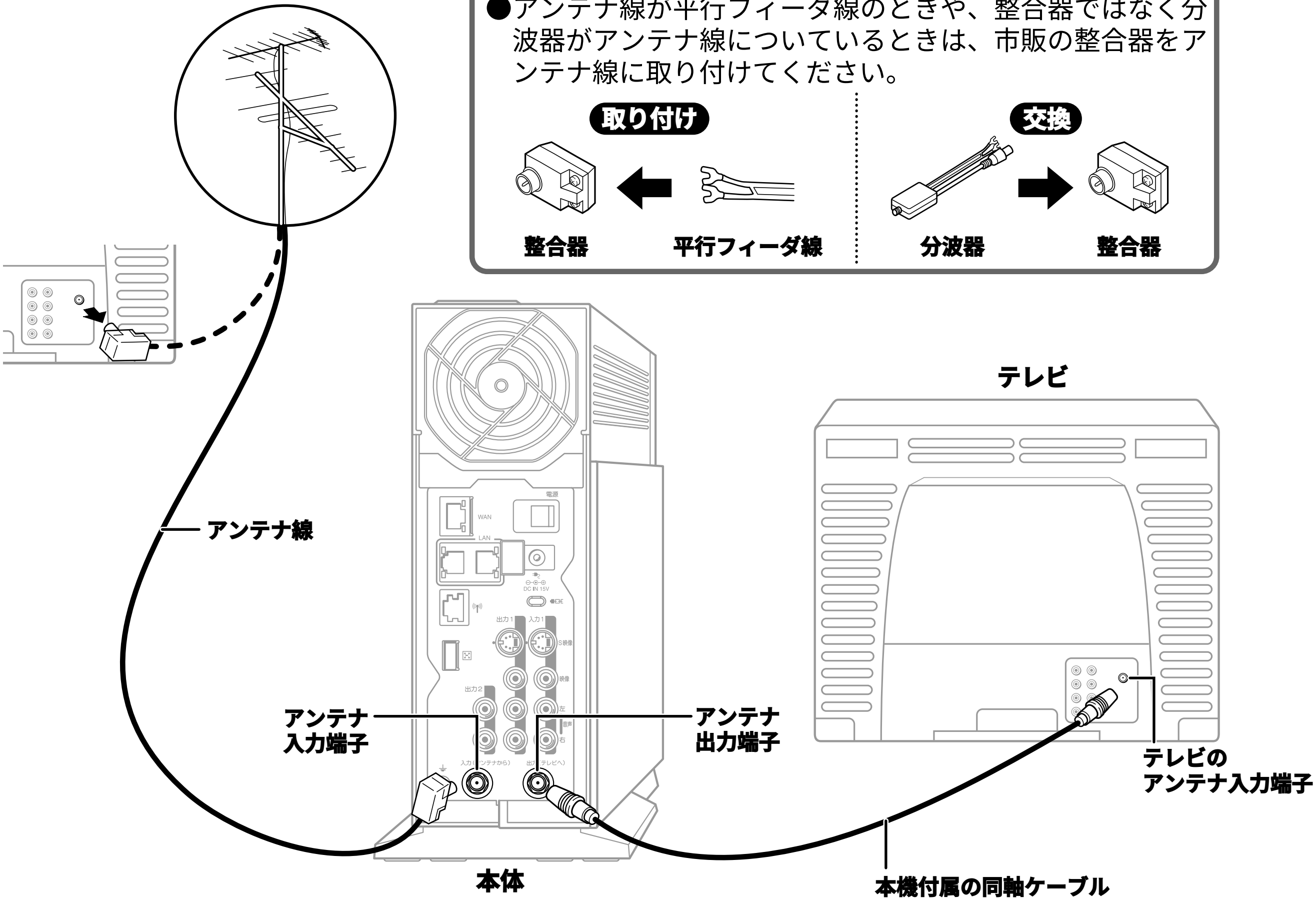
テレビアンテナの接続

テレビ番組を見たり、録画するために、アンテナとテレビを本機に接続します。

1 **テレビのアンテナ入力端子に接続されているアンテナ線をはずし、はずしたアンテナ線を本機背面のアンテナ入力端子へつなぐ**

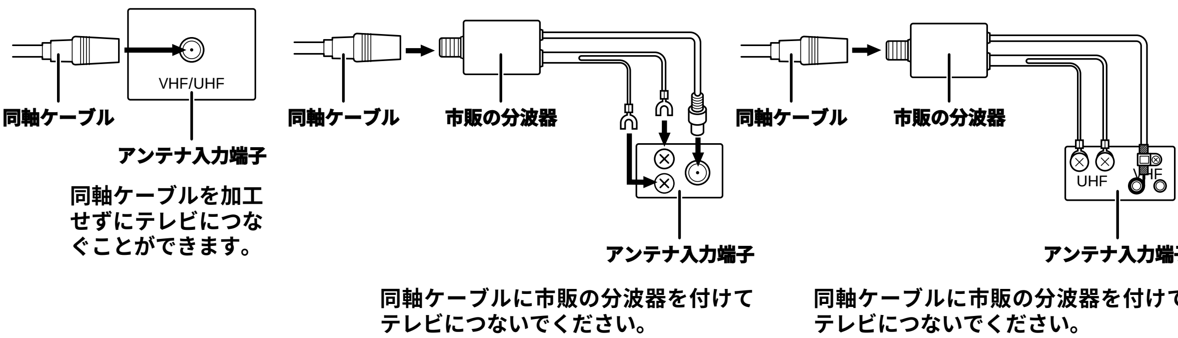
2 **本機背面のアンテナ出力端子とテレビのアンテナ入力端子を本機付属の同軸ケーブルでつなぐ**

●アンテナ線が平行フィーダ線のときや、整合器ではなく分波器がアンテナ線についているときは、市販の整合器をアンテナ線に取り付けてください。



●テレビによってアンテナ入力端子が違います

同軸ケーブルをテレビのアンテナ入力端子へ取り付けるときは、テレビのアンテナ入力端子の形を確認してから、下記のように接続してください。



お知らせ

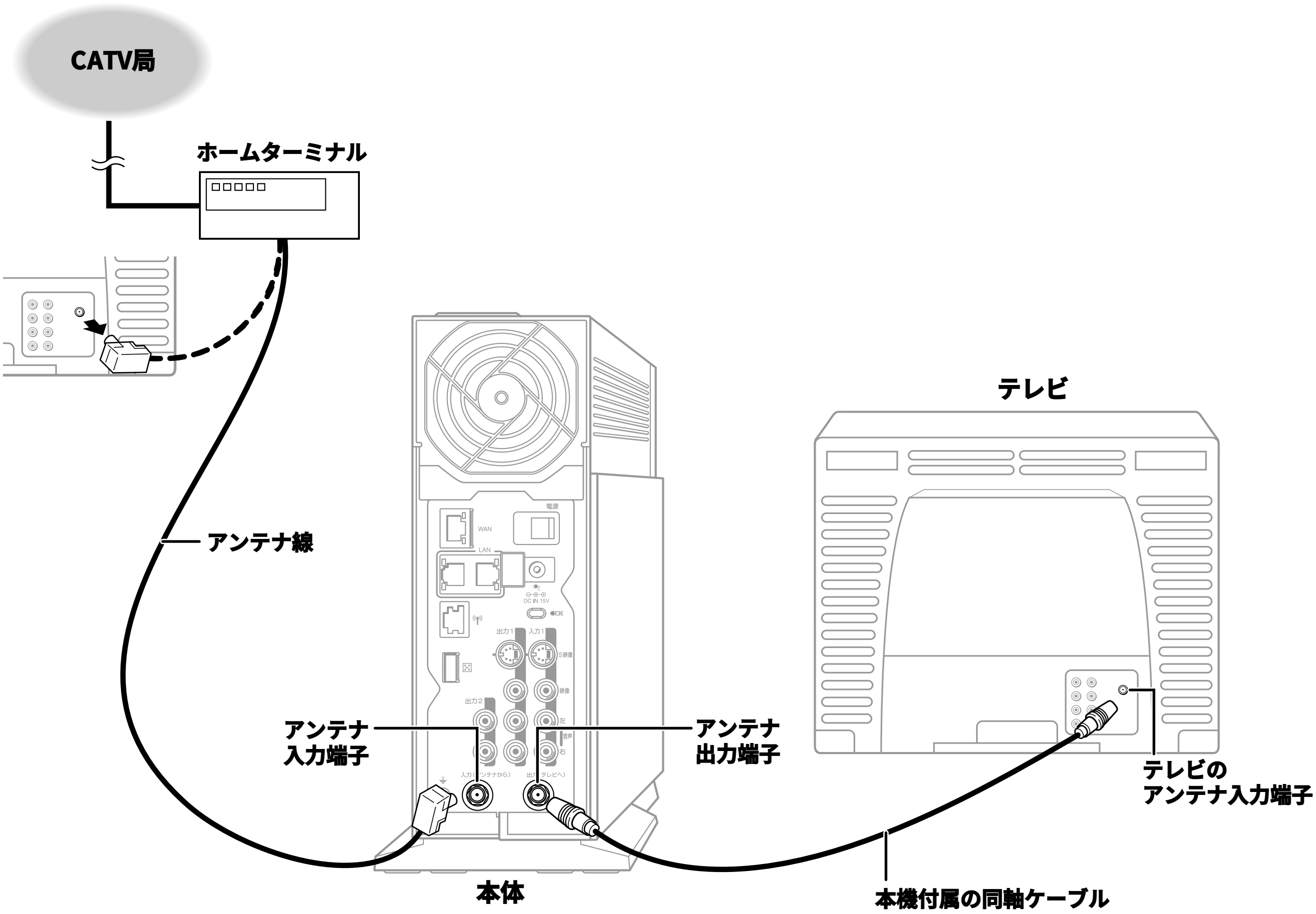
テレビやラジオに影響がある場合は、TransCubeやテレビの位置や向きを変えてください。

ケーブルテレビのアンテナの接続

ケーブルテレビをご利用の場合、下の図のようにアンテナ線を接続します。

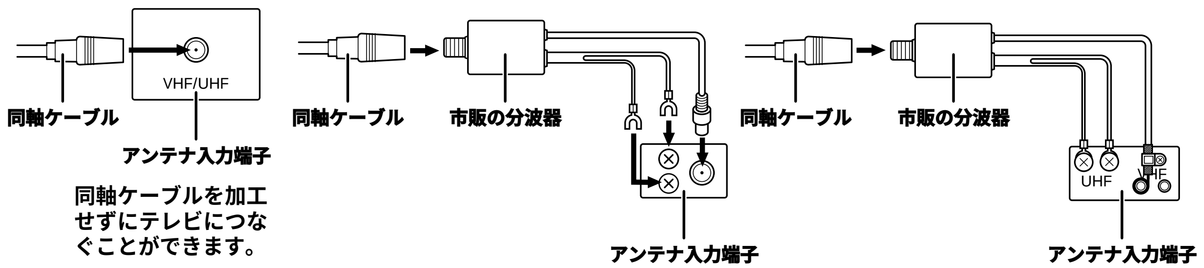
1 **テレビのアンテナ入力端子に接続されているアンテナ線をはずし、はずしたアンテナ線を本機背面のアンテナ入力端子へつなぐ**

2 **本機背面のアンテナ出力端子とテレビのアンテナ入力端子を本機付属の同軸ケーブルでつなぐ**



●テレビによってアンテナ入力端子が違います

同軸ケーブルをテレビのアンテナ入力端子へ取り付けるときは、テレビのアンテナ入力端子の形を確認してから、下記のように接続してください。



同軸ケーブルに市販の分波器を付けて
テレビにつないでください。

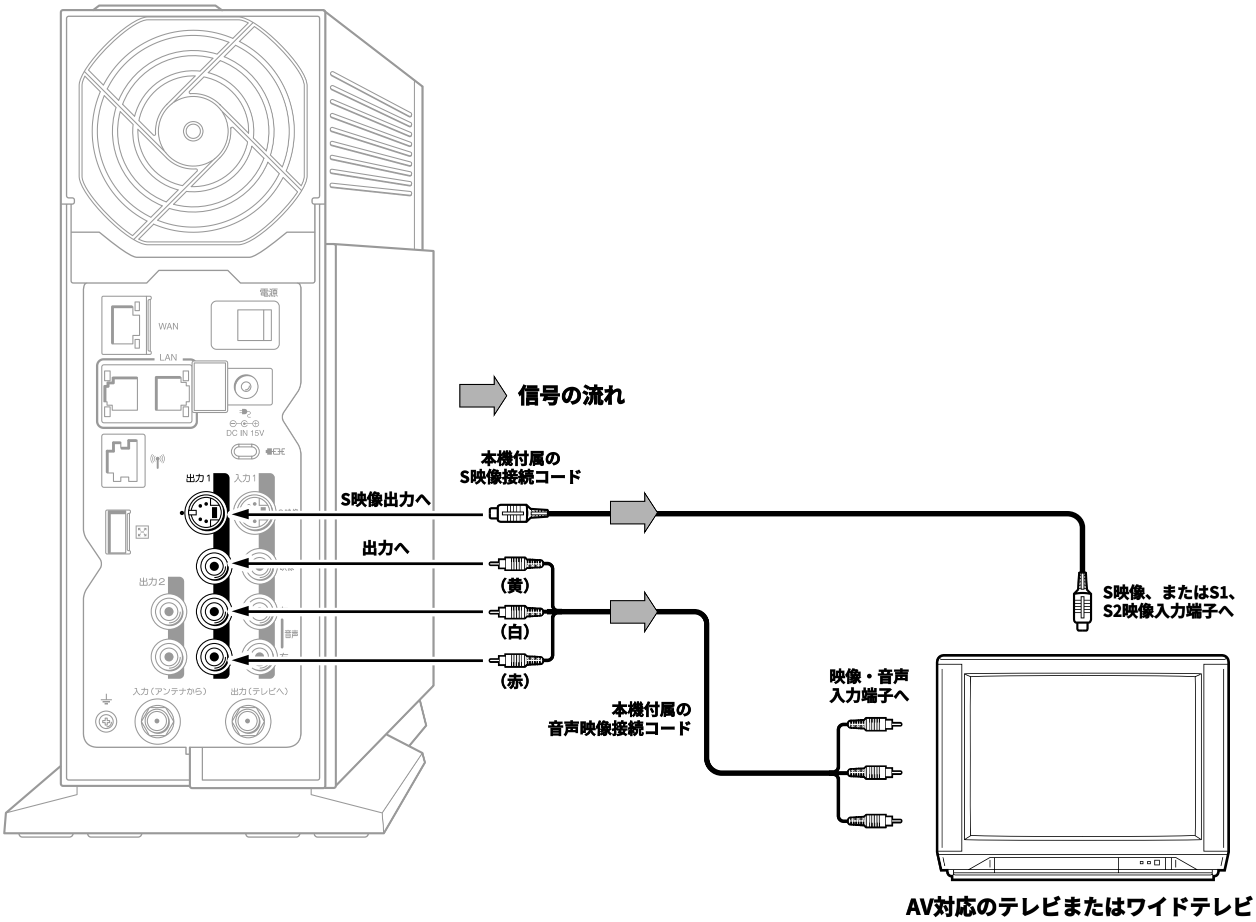
同軸ケーブルに市販の分波器を付けて
テレビにつないでください。

お知らせ

テレビやラジオに影響がある場合は、TransCubeやテレビの位置や向きを変えてください。

映像・音声入力端子付きテレビとの接続

テレビの映像・音声入力端子と本機背面の外部出力端子を、下の図のように接続します。



お知らせ

映像・音声入力端子がないテレビは、本機と接続することはできません。

お知らせ

- 接続するテレビの取扱説明書も、よくお読みください。
- 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- テレビの音声入力端子がモノラルのときには、市販の接続コードを使用して接続してください。

ワンポイント

より鮮明な映像で見るには、本機のS映像端子とテレビのS映像端子とを接続します。

ワンポイント

ワイドテレビと接続するときは

ワイドテレビと接続するときは、本機付属のS映像接続コードでテレビのS１映像入力端子と接続してください。S１映像入力端子は、アスペクト比（画面の縦・横比）の異なった映像を自動的に識別する機能を持つ端子です。本機はS２映像入力端子にも接続できます。ただし、本機はS１、S２映像信号を出力しませんので、視聴する際にはワイドテレビのアスペクト比を調整してください。

ビデオデッキとの接続

本機とビデオデッキを接続するには2つの方法があります。

テレビに映像・音声外部出力端子が付いていない場合は、映像・音声信号の流れから見て、「TransCube」→「ビデオデッキ」→「テレビ」とつないでください。

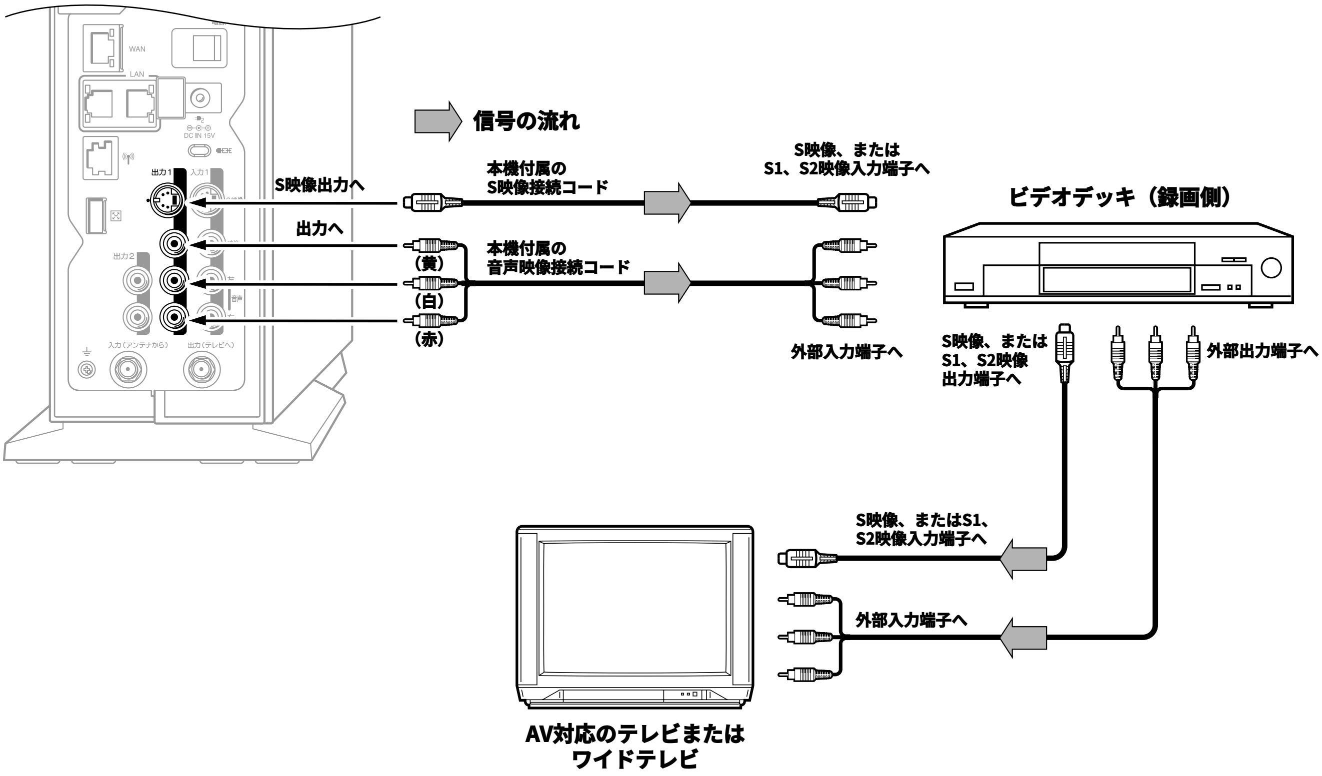
テレビに映像・音声外部出力端子が付いている場合は、「TransCube」→「テレビ」→「ビデオデッキ」とつないでください。

お知らせ

- **ほかの機器を接続する場合は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**
- **ビデオの取り扱いは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。**
- **本機の電源コードをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、必ず本機の電源スイッチを切っておいてください。本機の電源がONの状態でほかの機器を接続すると、本機からの映像が正しく出力されない場合があります。**

テレビに映像・音声外部出力端子が付いていない場合

下の図のように接続してください。

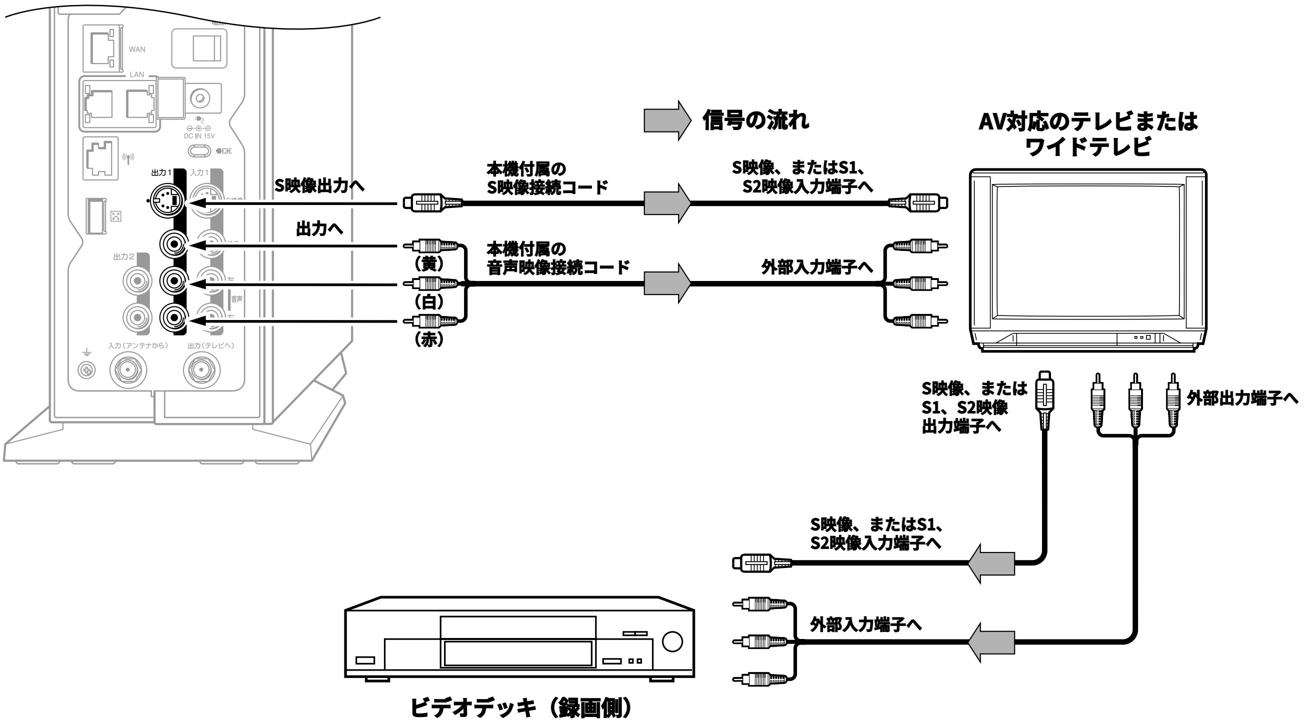


ワンポイント

より鮮明な映像で見るには、各機器のS映像端子とS映像端子を接続します。

テレビに映像・音声外部出力端子が付いている場合

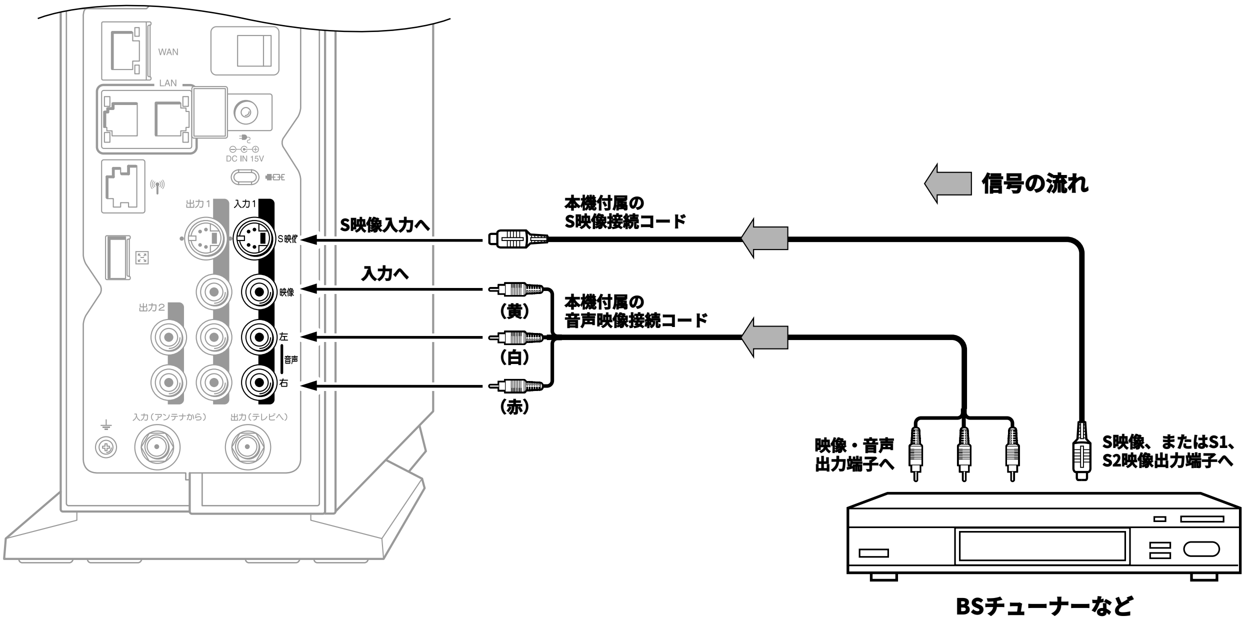
下の図のように接続してください。



ワンポイント より鮮明な映像で見るには、各機器のS映像端子とS映像端子を接続します。

BSチューナーなどとの接続

BS放送を録画するときは、本機背面の外部入力1端子に、BSチューナーやBSチューナー内蔵ビデオデッキの出力端子を接続します。



1 入力する機器を本機に接続する

2 リモコン／本体の［チャンネル］ボタンまたは［入力切替］ボタンで、「外部入力1」に切り替える

ワンポイント

より鮮明な映像で見るには、本機のS映像端子とBSチューナーなどのS映像端子とを接続します。

ワンポイント

外部入力1端子に接続した機器からの映像をTransCubeに録画する場合は、外部入力からの信号の入力を検出して自動的に録画を開始する、入力自動録画機能を使用することができます。入力自動録画については下記ページをご覧ください。

参照 BS放送などを自動的に録画する（入力自動録画）　LIVE MEDIA for TransCube V2操作マニュアル　41ページ

お知らせ

・ほかの機器を接続する場合は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
・BSチューナーなどの取り扱いは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

・著作権保護機能がかかった映像は入力できません。

お知らせ

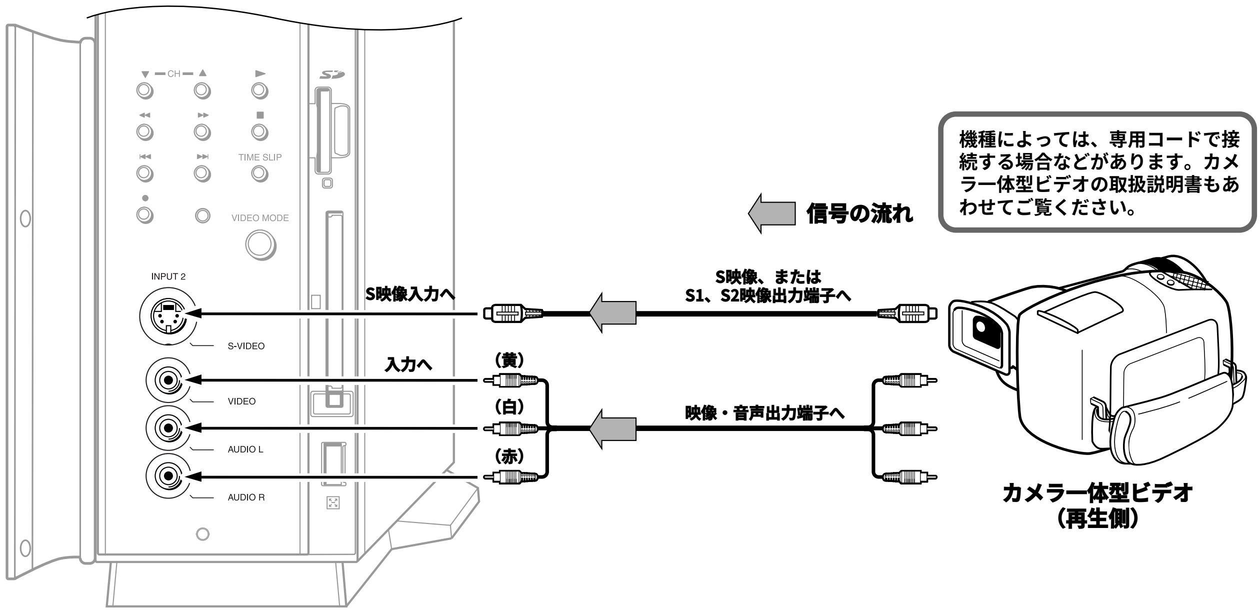
外部入力1、または外部入力2に接続された機器を、本機またはLIVE MEDIA for TransCube V2から制御することはできません。

外部入力1、または外部入力2からの入力映像を録画予約する際は、予約した録画の準備が始まるまでに接続した機器から目的の映像が出力されるよう、その機器を設定してください。目安としては録画開始約1分前となります。

・たとえばBSチューナーを本機の外部入力端子に接続した場合、BSチューナーの電源を入れたり、チャンネルを切り替えるなどの操作は、BSチューナーの側で行う必要があります。

カメラ一体型ビデオ（ビデオカメラ）などとの接続

　カメラ一体型ビデオで撮影した映像を本機にダビングできます。この場合、本機前面の外部入力2端子に接続すると便利です。



1 **本機の前面扉を開ける**

2 **入力する機器を本機に接続する**

3 **リモコン／本体の［チャンネル］ボタンまたは［入力切替］ボタンで、「外部入力2」に切り替える**

お知らせ

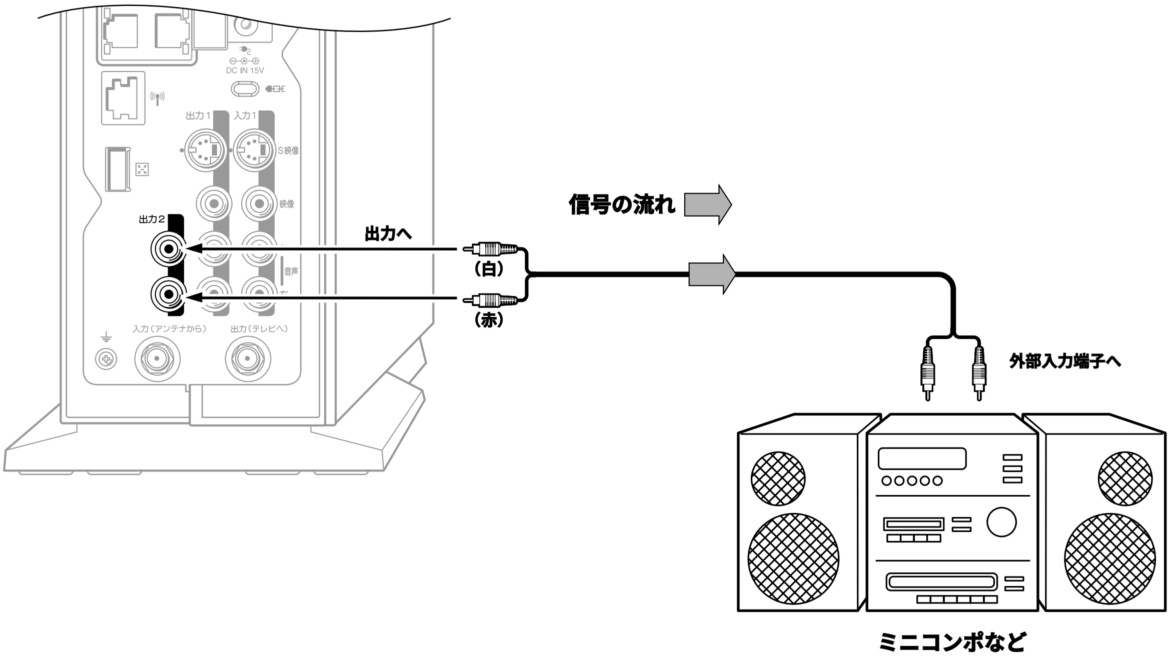
- 本機前面の入力端子に接続する場合、端子の最大外径寸法がφ11.5mmよりも細いピンケーブルしか使用できません。この寸法を超えるピンケーブルの場合は、最大外径がφ11.5mm以下のものに交換してください。
- 機種によっては、専用コードで接続する場合などがあります。カメラ一体型ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 機種によっては、ビデオの早送り、早戻し映像を正しくダビングできない場合があります。

ワンポイント

- 本機に録画した映像をカメラ一体型ビデオにダビングする際は、「ビデオデッキとの接続」（31ページ）を参考に、本機背面の出力端子と、カメラ一体型ビデオの入力端子を接続してください。
- より鮮明な映像で見るには、本機のS映像端子とカメラ一体型ビデオのS映像端子とを接続します。このとき、ピンケーブルの映像端子（黄）は接続する必要はありません。
- 映像を表示中に、外部入力のS映像端子や映像端子（黄）に接続したコードを抜き差しした場合、映像が正しく表示されなくなります。いったんチャンネルをテレビ放送に切り替えたあと、外部入力に切り替えてください。

オーディオ機器との接続

本機とオーディオ機器を接続する場合、本機の外部出力2端子とオーディオ機器の外部入力端子を接続します。



お知らせ

- **ほかの機器を接続する場合は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**
- **ミニコンポなどの取り扱いは、各機器の取扱説明書をご覧ください。**

お知らせ

テレビやラジオに影響がある場合は、TransCubeやテレビ、ミニコンポなどの位置や向きを変えてください。